

(1)



筑西市生涯学習課



第 17 号

発行日：令和 4 年 3 月 15 日

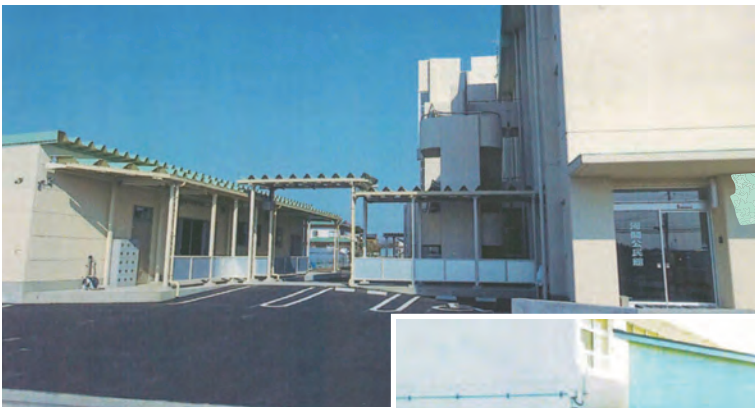
編 集：生涯学習情報紙編集委員会  
TEL 0296-22-0182

4つ葉の“くろーばー”のタイトルは、下館・関城・明野・協和の4つの地区がいつまでもなかよく幸せなまちをイメージしたものです。

五所公民館



河間公民館



嘉田生崎公民館

地域に親しまれる交流・活動拠点として  
 — 新しい公民館 五所・河間・嘉田生崎 —

五所・河間・嘉田生崎の3地区の新しい公民館が、五所小学校・河間小学校・嘉田生崎小学校の敷地内に、令和3年3月に開館しました。

学校に公民館が併設される効果には、次の4点が挙げられます。

- ① 高度で多くの学習環境の提供  
児童や地域住民に多くの学習環境を作り出し、学校や公民館を有効に活用できる。
- ② 児童と公民館の利用者との交流
- ③ 地域における拠点の形成  
児童の学びの場だけでなく、伝統文化や行事の継承などとおして、地域のコミュニティの形成に貢献できる。
- ④ 学校運営への支援  
公民館に集う専門性のある地域住民の協力を得て、児童に専門知識に触れる機会を作ることができる。

〈文部科学省の資料より〉

開かれた公民館と、児童の安全を最優先する学校を両立させる課題もありますが、これからも、より一層、地域のみなさまに親しまれる公民館を目指して職員一同努力してまいります。

~市民だれもが、いつでも、どこでもいきいきと学び交流するまち~

## 五所公民館

## 新しい五所公民館の現在



旧五所公民館は耐震強度が不足していたため、利用が中止になり、取り壊されました。隣接する五所小学校東側敷地に新五所公民館が建設され、令和3年3月1日より利用が開始となりました。



小学校との複合化が行われ、「調理室、和室、図書室、会議室」が無くなりましたが「多目的利用ができるホール」「広大な駐車場」が新設され、利便性も向上し、以前のよう

に「楽しく、笑顔で、元気な活動」が行われるようになりました。小学校との連携協力では、小学校の絵画展で小学生の全作品を公民館のホールに展示し、児童の家族に鑑賞してもらうことができました。

平日の夕方だけでなく、土曜日には親子で鑑賞に来てもらいました。

今後は、五所地区の生涯学習の拠点としての活動に努め、地域・小学校と連携・協力を密にして地区の活性化に取り組んでまいります。



小学校との複合化が行われ、

「調理室、和室、図書室、会議室」

が無くなりまし

たが「多目的利

用ができるホー

ル」「広大な駐

車場」が新設さ

れ、利便性も向

上し、以前のよ

うに「楽しく、笑

顔で、元気な活

動」が行われる

ようになりました。



## 河間公民館

## 地域のコミュニティセンターとして



河間公民館は、令和3年3月、地域のコミュニティセンターとしての役割を担うために、小学校の敷地内に会議室（交流室）、事務室、トイレ等が新設されました。現在、コロナ禍での安心・安全を確保し、地域の皆様のご理解、ご協力により取り組みを進めています。

特に小学校との連携では、職員室と公民館の事務室が隣り合わせになり、行事に対して打ち合わせが円滑にできます。心臓検診、夏休みの宿題お助け教室（絵画教室）、公民館華道クラブによる生け花体験等、学校と公民館を区切るドアを開放するだけで、それらの活動が動き出します。



また、グラウンド・ゴルフ大会や、文化祭、三者合同学習会としての落語講演会等は、小学校の施設を借用・共用しなければその目標を達成できませんでした。

今後も、開かれた交流の場と共に、小学生が地域を学ぶ体験活動の場として、公民館活動が更に充実していくよう取り組んでまいります。



# 嘉田生崎公民館 公民館の複合化と連携から



今年度、嘉田生崎公民館は小学校敷地内に新築された建家において、コロナ禍の厳しい状況の中、健康大学や女性学級の開級式を無事行うことができました。

また、館長の「地域との連携」への強い思いと共に、公民館が小学校敷地内ということから、「何か小学生のためになる公民館活動」を行いたいと「英語教室」と「プログラミング教室」が企画されました。



感じられます。

今後、コロナ感染が落ち着き平常をとりもどすことができれば対象を広げていくことも考えています。

「英語教室」の講師は、地区内に居住され、館長とも親交のある6年生の保護者の方に、「プログラミング教室」の講師は、学校の教育後援会長さんに引き受けていただくことができました。英語教室は毎週木曜日に、プログラミング教室は毎週火曜日に、午後3時30分から4時30分の1時間、6年生を対象に無料で実施しています。保護者の方の評判もよく、子どもたちからは「自ら学ぶ意欲や態度」を肌で



## 中央公民館 生涯学習と交流活動の拠点

中央公民館は、「市民だけれども、いつでも、どこでもいきいきと学び交流するまち」の推進・充実と住民の交流・仲間づくりを目指し、教養と生活文化の振興、社会福祉の増進への寄与、交流の場となるために様々な活動を行っています。

主な活動として、健康大学（高齢者学級）、女性学級、自主講座団体、地域女性団体連絡会、生活学校等々の活動拠点として、



また、筑西市の教養・文化・情報の発信拠点として、市民の皆様へのニーズにあった公民館活動を実施しています。

新型コロナウイルスへの予防対応の徹底や感染拡大のリスクに配慮しながら、市民の皆様が「安全・安心」に活動・使用できますよう講座の調整や運営方法の創意工夫に努めてまいります。市民の皆様が活用しやすいよう、皆様のご要望をお聞かせください。

## 中央公民館 「クラシック音楽」講座を開講

新型コロナウイルス感染症予防の対策をとり、3密を避け、マスクを着用しながら、「ウィーン音楽紀行」、「ライプツィヒ音楽紀行」を開催しました。

講師は、筑西市出身の石井萌加先生にお願いしました。定員を超える申し込みがありました。



石井先生は、茨城県を拠点にクラシック音楽の聴き方を伝える活動を行っており、日々活躍されています。この講座は、活躍した作曲家たちの「足跡・曲への思い・音楽の歴史」をたどりながら、ピアノの生演奏を聴くことができる講座です。



受講生の皆さんからは、すばらしいピアノの奏でる音に感動しながら作曲家の人生などにも触れる事ができ、「大変よかった」「旅行に行った雰囲気や十分味わう事ができました」等の声をいただき好評に終了することができました。

### 伊讚公民館 地域住民(高齢者)のオアシス

伊讚公民館は、自治会・健康大学・女性会・登録団体等にご利用いただいています。直近3年間の利用人員の推移は、平成30年度8950名、令和元年度7800名、令和2年度3700名です。

コロナ禍の影響により大幅に減少しました。今年も臨時休館と開館を繰り返し、10月から感染対策を取りながら通常開館となりました。待ちわびていたかのように、オカリナ、クラブト、フラダンス等の趣味活動や、健康大学でのリンパヨガ講座等々の活動が一斉に始まりました。利用者の方からは、「公民館が使えるようになって本当に良かった。」「何もしいたで家に籠っていたんではボケてしま



う。」との声を多数耳にしました。その声を聞いた時、公民館は地域の住民(高齢者)の方々にとって、生き甲斐の場所を担っていると、しみじみ思いました。

### 川島公民館 新しい公民館活動を目指して

今年も新型コロナウイルス感染拡大による閉館があり、地区の運動会、文化祭も中止となりました。しかし、感染予防に努め、活動する健康大学や自主サークルの皆さんの挨拶や笑顔に支えられています。そんな中、新しい取り組みを2つ始めました。



1つは「入り口図書室」です。図書室の利便性を高めるため、昇降口に比較的新しく、最近寄贈され興味を引きそうな本を集めました。

活動の帰りに2冊、3冊と借りていく方もおりとても好評です。

もう1つは地域の「かわしまコネクト」が主催する「まごカフェ」の開催です。孫や地域の他孫(たまご)にメロメロ、タジタジの方を募集して、講演を聴き、無理せず孫育てを楽しむ方法等の情報交換も好評でした。

来年度こそ、公民館の活動に活気が戻り、公民館に行くことが楽しいと言われるように工夫していきたいと思えます



### 竹島公民館 コロナ禍の中での取り組み

昨年度の反省から、コロナ禍の中での公民館活動の活性化を考え、4月から女性学級では、「勤行川桜堤」「小貝川」「県西運動公園」「大谷川」「ザ・ヒロサワ・シテイ」でのパークゴルフなど「散歩・郊外での活動」を中心に、「ソーシャルディスタンス」等を意識し活動しました。手芸クラブによる「吊るし雛」等も自宅での制作にしました。



健康大学では、「切り絵」と「グラウンド・ゴルフ」クラブが休館日を除き年間を通して活動しました。10月29日の「折り紙教室」では、かわいいブードルの作品を制作しました。11月4日〜12日までの8日間女性学級と健康大学生による作品展を公民館のロビーで開催しました。移動研修では、11月17日に女性学級が「水戸の弘道館」を中心に、11月26日に健康大学が「那須烏山市の山あげ会館」をメインに実施しました。今後も学級生との連携を密に活動していきたいと思えます。



健康大学では、「切り絵」と「グラウンド・ゴルフ」クラブが休館日を除き年間を通して活動しました。10月29日の「折り紙教室」では、かわいいブードルの作品を制作しました。11月4日〜12日までの8日間女性学級と健康大学生による作品展を公民館のロビーで開催しました。移動研修では、11月17日に女性学級が「水戸の弘道館」を中心に、11月26日に健康大学が「那須烏山市の山あげ会館」をメインに実施しました。今後も学級生との連携を密に活動していきたいと思えます。

### 養蚕公民館 作品展示会開催について

養蚕地区文化祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、安全を最優先と考え中止となりました。文化祭開催を目標に健康大学、女性学級、女性会が活動を続け、制作作品が多数あることから、「作品展示会」として公民館ロビーにおいて「藍染、寄せ植え、フラワリアルレンジメント、切り絵」等を12月〜2月下旬の期間展示することにしました。



芸術性に満ちた作品が多く、裾野の広さを実感しています。女性学級は、期間中みんなで作り上げた「アクリルたわし」を2個100円で販売しました。女性会は、12月第3週までの金・土・日午前中にマスキューズ作り体験を実施しました。長い期間の展示会ですが、安全対策を徹底しての実施となりました。



長い期間の展示会ですが、安全対策を徹底しての実施となりました。

## 中公民館

### 「コロナ禍での地域との交流」

コロナ禍の合間を縫って、今年も公民館が共催し、中地区花壇コンクールが開催されました。今年はコロナ禍の中、写真審査となっていました。



でしたが、7つの地区団体が参加しました。公民館では、苗の手配から審査に至るまで計画し、少しでも地域の美化活動に貢献できればと願っています。各地区の花壇では、たくさん草花が咲き誇っていました。

10月には、コロナ感染者の減少に伴い、延期になっていた健康大学中級での輪投げ大会がようやく実施することができました。健大生59名のうち、33名の参加でしたが、団体戦と個人戦を行い、楽しさの中にも白熱した試合が展開されました。コロナ感染症が早く終息し、普段通りの活動に戻ることを願うばかりです。



(5) 中公民館では、来年度も地域の皆さんのために積極的に取り組んで参ります。

## 大田公民館

### 健大・女性学級 屋外活動から

コロナ禍の中、感染症拡大防止策を十分とった上でどんな活動ができるか模索してきた中で、まずは屋外活動から全体の活動を始めようということになりました。

女性学級が10月5日、健康大学大田学級が11月17日、野殿グラウンドをお借りして「グラウンド・ゴルフ教室」を行いました。両日とも天候に恵まれ徐々に体を動かし、友人とのマスク越しの会話も弾むなど楽しい半日を過ごすことができました。

普段なら表彰セレモニーが在るのですが、今年は身体を動かすこと、コミュニケーションの場とすることが主な目的でしたので、表彰式を行わず、普段よりちよつびり豪華な参加賞を頂いて解散しました。

当日、「久々にみんなに会えて良かった」「しばらくやらなかったのに、身体が覚えていて面白かった」「初めて参加して楽しかった」など



たくさん感想を頂きました。コロナ禍での全体活動、「安心安全な活動」ができるよう、少しずつ工夫しながら進めています。

## 関本公民館

### 「つづき「ペーパーアート」」

11月に、ペーパーアート認定講師の小島恭子先生をお招きして「しめ縄飾りづくり」を実施しました。

先生から、カラーペーパーの巻き方や重ね方など、学級生一人一人に丁寧にご指導していただきました。平面の紙が立体的で本物のような素敵な花や葉になっていく驚きや手作りの楽しさを味わうことができました。作品は玄関などに飾り、新しい年を明るく迎えることができました。



### 自力整体講座

今年度から新たに開始された『自力整体（ゆらゆら脱力整体体操）講座』は、講師に石川美智子先生をお招きし、年間10回の講座です。

自力整体とは「自分の体を観察し体の声を聞いてあげる。頭の先から足の先までリフレッシュさせ、足腰を鍛えあげると共に自律神経を整え、自然治癒力、免疫力をUPさせる。」ことを目的としており、受講生の皆さんは毎回楽しんで受講されています。



## 河内公民館

### 「つづき「パークゴルフ」」

令和3年10月30日に、下妻にある「ふれあいパークゴルフ場」に行き、パークゴルフを初めて体験してきました。

グラウンドゴルフよりも、よりゴルフに近いコース設定の中、楽しくスポーツを楽しむことができました。プレーヤーとしてのマナーが必ず必要な場面が多くあり、居合わせられた人たちに教えるためにも大変勉強になりました。



### 腰膝脚鍛練法講座

鳥生厚夫先生を講師として、高齢者が衰えがちになる体の部分について、講義と実践を組み合わせるご指導をいただきました。

加齢に伴って何もしなければ筋力が弱くなり、結果、体も固く痛みが各所に出てくるものですが、鍛練次第でいつまでも健康な体に維持できることを実感できる講座となりました。



黒子公民館

ウクレレ講座



今年度は、ウクレレ講座を開講しました。コロナ禍にもかかわらず25名の受講生が集まりました。半分の方が、ウクレレを持っておらず、アツシ先生がウクレレを用意するのに、大変苦労したようです。途中2ヶ月間ペアーノが閉館になりましたが、数々のテクニクを先生が熱心に指導してくれたお蔭で、皆さん大変上手になりました。また、ハワイアンだけでなくいろいろな曲を先生に披露していただきました。閉講式は、アツシ先生夫婦のデュエットでした。

いじぶき「移動学習」



今年度の「移動学習」は、銚子大橋・醤油工場・灯台見学の予定でしたが、コロナ禍のため醤油工場の見学はできませんでした。行きと帰りの高速道路は、嵐のような雨が降りましたが、青空を覗かせる時もありました。見学やトイレタイムの時は、雨が止んでくれたので大変助かりました。今回の旅は、コロナ禍のなかストレス解消の旅でした。

明野公民館

四ツ竹踊り講座



四ツ竹踊りは、4つの竹を手に持ち、いろいろな歌にあわせて、竹を鳴らして踊ります。今年度も講師の近藤ひろ子先生にご指導をいただきながら「楽しく、元気に、健康づくり」をキャッチフレーズに、「頭の健康、体の健康、心の健康の3つの健康を大切に、一人一人が楽しいひとときを送っています。皆さんも、これらの人生、四ツ竹踊りで体の健康やお友達作りを楽しんではいかがでしょう。か。

明野地区高齢者学級



昨年度は、コロナ感染拡大のため思うように活動ができませんでしたが、今年度は感染防止に努めながら、グラウンドゴルフ、健康体操などの教室を実施することができました。

まだまだ、十分な活動とはいきませんが、できるところからやっていきたいと考えています。皆さんのご参加をお待ちしております。

協和公民館

リボン刺繍講座



今年度の新規講座として、「リボン刺繍講座」を開設しました。6名の受講生は、講師の成田幹子先生のご指導の下、6月から月2回の講座（年7回）で、糸の代わりにリボンを使った刺繍に真剣に取り組んでいました。



この講座で、ラベンダー・マーガレット・ひまわりの花の刺繍を完成させ、壁掛けやブローチ等の素晴らしい作品を制作しました。

「高齢者ふれあい学級」

協和地区高齢者ふれあい学級は、古里・新治・小栗の3地区合計60名の学級生で構成されています。

7月には、市内在住の宮田弘之先生をお招きし、「マジックショー」を実施しました。



コロナ禍の中でしたが、皆さん楽しいひとときを過ごすことができました。

訪問型家庭教育



子どもをもつ保護者の皆さん。子育ての不安や悩みを抱えてても、仕事の関係で相談の場に足を運ぶことが難しいことはありませんか。

そういう方々のために、筑西市では「訪問型家庭教育支援」を行っています。

地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭を支援し、子どもの育ちを支えていくことを目的としています。

具体的には、支援員が保護者の皆さんの話を聴くことにより、家庭教育に関する悩みや不安の解消をしたり、学びの場の拠点や専門機関などを紹介したりすることが主な役割です。

支援員は、専門的な知識をもっていますが、保護者の皆さんと同じ目線に立って寄り添っていきまします。保護者の皆さんからのお話を優先します。

• お話しいくことは聞きません。  
• お聞きしたことを絶対に口外しません。

地域の宝である「子どもたち」の育ちを手伝わせてください。

筑西市教育委員会 生涯学習課  
電話 0296-22-0182

生涯学習ボランティア

# ちくせい市民講師



## を募集しています。

筑西市では、いつでも、どこでも、だれでもがともに教え合い、学び合う生涯学習社会を実現するため「ちくせい市民講師」の登録制度を実施しています。

あなたも「ちくせい市民講師」に登録して、生涯学習ボランティアとして活動してみませんか。

### 市民講師の役割

市民からの求めに応じて、自己のもつ知識、技能、体験等を伝え、自ら学ぼうとする市民を支援します。

### 応募の資格

生涯学習ボランティアとして市の生涯学習の推進に積極的に貢献しようとする意欲をおもちの方ならどなたでも応募できます。

### 応募の方法

「ちくせい市民講師登録申請書」に記入し、市教育委員会生涯学習課及び各公民館に提出してください。

※「ちくせい市民講師登録申請書」は、市教育委員会生涯学習課（筑西市役所3階）及び各公民館にあります。

### 問い合わせ先

筑西市教育委員会生涯学習課生涯学習グループ  
TEL 0296-22-0182

## ちくせい市民大学

《立正大学

デリバリーカレッジ》

ますます多様化している市民の皆さまの学習要求に対応するため、立正大学研究推進・地域連携センターが開催する「デリバリーカレッジ」(大学の知的財産である教授陣を無償で派遣し、市民を対象にさまざまなテーマに基づいた講義を展開する事業)と連携して開設しています。

今年度も、11月から12月に「一般教養課程」のコースを設定し、全2回、講座を実施しました。

45名の方々から受講申込みをいただきました。

社会・経済の変化の激しい今日にあつて、生涯の限られた時期(学齢期)にのみ学習するのではなく、自己の実現や啓発のための学習、職業能力や生活の向上のための学習など、様々な学習機会が求められています。

このような中で、「市民だれもが、いつでも、どこでもいきいきと学び交流するまち」、そして、学んだ成果や能力を還元できるような生涯学習社会実現のために、今後も立正大学と連携し、大学が保有する知的財産を市民の皆さまの生涯学習やまちづくり活動に活かしていきたいと考えています。



令和3年度

会場：筑西市役所 6階 コミュニティプラザ  
13:15~15:00 (講義 90分)



第1回

11月27日(土)

テーマ ▶ 埼玉の三偉人から“共生のこころ”を考える  
～ 塙保己一・渋沢栄一・荻野吟子～

講師 ▶ 元社会福祉学部教授 堺 正一



第2回

12月11日(土)

テーマ ▶ 『シンデレラ姫』と『瓜子姫』との会話は可能だろうか？

講師 ▶ 名誉教授 清水 多吉



16年目を迎えたこの事業には、各種学級・講座・教室等を中心に各地区で積極的に参加され、仲間と励ましあいながら、目標をもち楽しく学習されています。

希望する市民に単位認定手帳を交付し、生涯学習関係機関等で主催する講座や教室などに参加した場合1回(2時間)につき1単位として認定し、50単位、100単位達成者には、生涯学習課が認定証及び記念品を贈呈する制度です。

単位認定手帳は、しもだて地域交流センター、各公民館、生涯学習課にあり、交付を希望する市民は(16歳以上)は、どなたでも受け取ることができます。

令和3年1月中旬より令和3年12月末までで1000単位以上達成者が9人、500単位以上達成者が21人、300単位以上達成者が13人、100単位以上達成者42人、50単位達成者5人となっております。

あなたも、であい・ふれあい・学びあつて生きがいのある人生を送ってみませんか!

◆生涯学習奨励単位認定事業 認定達成者

令和3年12月31日現在

<b>3000単位達成者</b>		<b>600単位達成者</b>		7 倉持 英史 (東石田)	12 関口 孝子 (一本松)
1 仁平 ひろし (一本松)	1 高田 くに子 (西方)	8 中澤 貞子 (二木成)	13 富田 悦子 (市野辺)	9 塚田 清子 (岡芹)	14 近藤 つや子 (下中山)
<b>2600単位達成者</b>		2 平島 公子 (寺上野)	<b>200単位達成者</b>		
1 大島 郁子(乙)	3 斉藤 登志江 (西石田)	1 中山 洋子 (井上)	15 森 和子 (関本下)	2 吉田 美江子 (小川)	16 星野 道子 (向上野)
<b>1800単位達成者</b>		4 木下 秀行 (小栗)	3 榎村 郁代 (横島)	3 榎村 郁代 (横島)	17 谷中 安子 (嘉家佐和)
1 藤田 信雄 (清水)	5 瀬畑 とく (乙)	4 飯岡 幸子 (新治)	4 飯岡 幸子 (新治)	4 飯岡 幸子 (新治)	18 大和 薫 (中上野)
<b>1300単位達成者</b>		6 永盛 守夫 (中館)	5 杉山 功 (中館)	5 杉山 功 (中館)	19 山下 芳子 (関本分中)
1 江口 よね子 (幸町)	<b>500単位達成者</b>		6 鈴木 こと (嘉家佐和)	6 鈴木 こと (嘉家佐和)	20 谷嶋 富美子 (成田)
<b>1200単位達成者</b>		1 飯島 八重子 (門井)	7 櫻井 艶子 (神分)	7 櫻井 艶子 (神分)	21 浜野 はつえ (下岡崎)
1 片平 ミチ子 (赤浜)	2 石内 しづ子 (関本中)	2 石内 しづ子 (関本中)	8 中沢 博子 (市野辺)	8 中沢 博子 (市野辺)	22 浜野 正一 (下岡崎)
<b>1100単位達成者</b>		3 瀬端 とみ子 (掉ヶ島)	9 長島 松子 (市野辺)	9 長島 松子 (市野辺)	23 川田 栄 (東榎生)
1 川田 ケイ (西方)	4 石井 いく子 (乙)	4 石井 いく子 (乙)	10 成田 敏夫 (赤浜)	10 成田 敏夫 (赤浜)	24 中野 きくい (嘉家佐和)
2 須藤 隆司 (門井)	5 太田 裕子 (蓮沼)	5 太田 裕子 (蓮沼)	11 長塚 敏江 (山王堂)	11 長塚 敏江 (山王堂)	25 大和 孝志 (中上野)
<b>1000単位達成者</b>		6 小川 まさ子 (甲)	<b>100単位達成者</b>		26 谷中 さわ (嘉家佐和)
1 馬場 泰則 (女方)	7 関根 利子 (丙)	7 関根 利子 (丙)	1 新井 保男 (中館)	1 新井 保男 (中館)	27 淀縄 武 (寺上野)
2 水越 信子 (玉戸)	<b>400単位達成者</b>		2 渡辺 千鶴子 (柳)	2 渡辺 千鶴子 (柳)	28 三浦 恵美子 (下川島)
<b>900単位達成者</b>		1 渡部 和子 (西方)	3 木村 みさ (下岡崎)	3 木村 みさ (下岡崎)	29 中山 紀美江 (辻)
1 野澤 よね (小林)	2 大野 悦子 (藤ヶ谷)	2 大野 悦子 (藤ヶ谷)	4 田宮 富佐子 (小川)	4 田宮 富佐子 (小川)	30 田崎 市子 (花田)
2 谷島 好美 (西方)	3 大武 眞規子 (西石田)	3 大武 眞規子 (西石田)	5 飯村 百々代 (甲)	5 飯村 百々代 (甲)	31 杉山 保二 (下岡崎)
<b>800単位達成者</b>		4 宮本 伸子 (伊佐山)	<b>50単位達成者</b>		1 中島 恵子 (高津)
1 古宇田 つる (海老ヶ島)	<b>300単位達成者</b>		6 古宇田 京子 (寺上野)	6 古宇田 京子 (寺上野)	2 猪瀬 真理子 (女方)
<b>700単位達成者</b>		1 浅野 美枝 (岡芹)	7 斉藤 高子 (小林)	7 斉藤 高子 (小林)	3 亀田 清子 (小栗)
1 倉持 和子 (関本分中)	2 角野 寿代 (関本分中)	2 角野 寿代 (関本分中)	8 小島 きく (宮後)	8 小島 きく (宮後)	4 鈴木 とし子 (旭ヶ丘)
2 石原 英子 (玉戸)	3 平出 佐和 (玉戸)	3 平出 佐和 (玉戸)	9 川田 クラ (東榎生)	9 川田 クラ (東榎生)	5 佐藤 恵美 (竹垣)
3 古澤 成子 (嘉家佐和)	4 砂岡 幸恵 (下平塚)	4 砂岡 幸恵 (下平塚)	10 竹内 悦子 (市野辺)	10 竹内 悦子 (市野辺)	
4 杉山 トミ子 (茂田)	5 小林 道子 (玉戸)	5 小林 道子 (玉戸)	11 石上 文子 (嘉家佐和)	11 石上 文子 (嘉家佐和)	
5 内田 文枝 (茂田)	6 下村 進 (玉戸)	6 下村 進 (玉戸)			

編集後記

「金」の一字が令和三年の漢字に選ばれました。理由は、東京五輪・パラリンピックで多くの金メダルを獲得したほか、大谷翔平選手が二刀流で活躍し、藤井聡太竜王が最年少四冠を達成するなど、各界で金字塔が打ち立てられたからだと思います。

みなさんにとって、今年の「金」は、何だったでしょうか。

関係者のご協力により、生涯学習推進事業、全公民館主催事業を掲載した第17号を発刊することができました。

〈編集委員〉

須藤 和彦 菊池 光彦  
清水 博次 鈴木 克典

〈事務局〉

生涯学習課

